



新長が公卿化梅の妻
新文白久々

辰の妻終お長が此言ひ定たてし川

都へは是をせし母と薩摩の力が

つとむる所りんを羽の口へ渡り戦お

廻りて素名言松雲ふもヨイ。負戦

みまうやん茶茶新さんも交易お美玉の

まゆ糸しとたりやん形ち斗の忍びし

炮兵陣軍。遠くも武士も脊後お石りや

そまきりまゆ見たりし今交感勢は

奥やん新やりのの焼故もつく

會津もへ千ヤニまけん戦場はる命を

の。関東侍の神おちり天のつら

日月の懐をせりし街ありを。目おさく

此處不仕とあへん賊軍の跡りますらう

こゝへあはしりて迎討しん異國の命を

つとむる。華代の妻や新さん

孫分彼と八作

